

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	さいたま文学館
指定管理者	(公財)けやき文化財団
評価対象年度	平成26年度
施設所管課	生涯学習文化財課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	A	適切な事故防止対策等がされており、安全性は確保されていた。
	法令等の遵守	A	法令等の遵守について、適切に処理されていた。
	平等利用の確保	A	適切に処理しており、平等利用は確保されていた。
施設の設置 目的の達成	事業の実施	B	施設の稼働率が目標を下回り、文学ホール及び研修室3の利用促進が必要である。 (目標)60%以上 → (実績)57.5%
	利用状況	B	利用者数が平成25年度に次ぐ歴代2位を記録したが、目標を下回った。 (目標)63,100人 → (実績)62,789人
	適切な管理の 履行	A	協定書や事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	文学資料の適切な 管理・展示	A	燻蒸消毒を行い、中性紙の箱で保存するなど文学資料の劣化防止に努めている。
	財産の適切な 管理	A	適切な財産管理がなされていた。
利用者サービス の向上	サービス内容の向上	A	複合施設である桶川市民ホールと相互に連携して案内、調整等を行う「貸出コンシェルジュ」を設置し、サービス内容の向上に努めた
	利用者の満足度	A	利用者サービスの向上などに努めた結果、目標を上回った。 (目標)職員対応85%以上 → (実績)95.3% (目標)施設自体85%以上 → (実績)86.2%
総合評価		B	適切な管理・運営がなされているが、利用者数や施設の稼働率などで管理目標を下回った。

特記事項	特に評価すべき点	適切な管理・運営がなされており、利用者の満足度も各項目で管理目標を達成しており、特に職員対応については、目標を大きく上回った。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	平成27年度は改修工事により5か月半の休館となるため、ホームページなどを活用した積極的かつ効果的な広報の実施により、利用者数、利用料金収入について管理目標の達成を図ること。